

■ 代表挨拶

多摩境駅からフリースペースまでの途中にある札次神社には1本の立派な桜の樹があります。毎朝その樹の前を通り過ぎると、四季の移ろいを感じることができます。

コロナ禍での生活が始まって気がつけば1年が経ちました。昨今ニュースでは今夏予定していた東京オリンピックの開催の是非について多くの意見が飛び交っています。まだ先の生活が見通せない日が続きますが、一日一日を大事にしていきたいものです。

ゆどうふでも毎年2～3月に実施してきた子ども若者支援団体による多文化イベント「You do! Festival」が延期となりました。

メンバーからは「今年は夏フェスという形で実施したい」という声があがっていますが、やはり当面は見送った方がいいのではないかと声もあります。

やる、やらないの二極どちらかに拠って即断せずに、話し合いを重ねて双方の主張を尊重した上で納得のいく「私たちの判断」をすること—それが人としていつでも大事な営みであると感じています。



■ 東京都ひきこもりサポートネットの居場所支援セミナーに登壇しました

2月20日、国立オリンピック記念青少年総合センターで行われた東京都主催の「居場所支援セミナー」に講師として登壇しました。

午前中は代表による講義をさせていただき、居場所運営のポイントや事例紹介等を行いました。午後は支援スタッフもファシリテーターとして参加し、実際の居場所での対応、プログラム作成等のグループワークを行いました。

セミナーには実際に居場所運営をされている方、これから運営をされる予定の方、行政の方、社会福祉協議会の方、医師、就労支援機関職員等さまざまな立場の方が参加してくださり、あらためて今の日本における若者の居場所の必要性に関する課題意識の高さを感じました。参加してくださった皆様、ありがとうございました。

東京都 若者社会参加促進事業 **参加無料**

『居場所支援セミナー』

～若者が求める居場所の条件について考える～

【居場所】という用語は多岐にわたるため、様々な場面で用いられます。若者支援の現場において、居場所は私たちが生きていく上で大切な役割を果たしていることが多く見られます。今回の講義では、多様な生きづらさを感じる若者にとっての居場所に必要な条件について考えます。

実践では、実践的知識を通じて、その対応の仕方についてディスカッションやロールプレイを行う予定です。

今年度は新型コロナウイルスの影響もありオンラインを活用したコミュニケーションが中心に開催しました。参加費を支払っていただく方が集まること（集客）を目的とするセミナーと異なり、参加費を支払っていただく必要はありません。

講演編	日時：2021年2月20日(土) 9時30分～11時30分	定員：40名
実践編	日時：2021年2月20日(土) 12時30分～16時30分	定員：8名

【会場】 国立オリンピック記念青少年総合センター
国際交流棟1階 レセプションホール

講師 NPO法人ゆどうふ理事長
辻岡 秀夫

【講師プロフィール】
神奈川県横浜市生まれ、東京都育ち。NPO法人ゆどうふ理事長、臨床心理士(専門は若者支援、イシュー・ジョー)、高年齢世代よりゆどうふの活動を開始し、現在は東京都府田市の活動拠点である若者就業支援センターを運営。

【注】 県内に活動拠点が有り、ひきこもりの若者やそのご家族を支援する団体や学校関係の支援の方、今後支援する予定の方で会場支援に携われる方
※ 会場へのお申込みが定員を超えた場合、講義編に参加された方を優先いたします。

東京都 主催：東京都
共催：東京都若者社会参加促進事業によりNPO法人青少年総合センターが実施しています。

■ D-PORTALに参加しました！

2月19日、【2020まちだDポータル diversity & inclusion care workshop】という地域共生社会創りをテーマにした事例発表会に代表が登壇、「多様な若者が生き生きする地域を目指して～わらしべワークプロジェクトの取り組み～」というタイトルで話をさせていただきました。当日はオンライン開催でしたが、様々な取り組み、コメントが飛び交う熱い3時間となりました。



フリースペース「ふらっと」について紹介します!



★フリースペース「ふらっと」とは?

ひきこもり等でお悩みの10代~40代の若者が、自分らしく生活をしていくための一步一步をゆっくり自分のペースで考えていくための場所です。

ゆどうふのフリースペースは京王相模原線「多摩境駅」から徒歩5分のところにあります。風通しの良い広々とした空間で過ごせるようになっています。

月曜、水曜、金曜の13時半から16時、土曜の13時から16時に開所しています。(現在新型コロナウイルス感染症の影響で開所時間を短縮しております。)

日中行うプログラムや外出の企画は、フリースペースにいる利用メンバーで話し合っていて決めています。

フリースペースでは、自由にお話したり、本を読んだり音楽を聞いたり好きなことをしながら過ごしています。また、思いをどうやって叶えていくのかも居場所のみんな考えています。



フリースペース「ふらっと」の活動報告

★ふらっとの看板が完成しました!

ゆどうふが鶴川から多摩境に移転して、何が一番変わったかということ、フリースペース“うお〜む”という名前が、あまり使われなくなり、ただ“居場所”やフリースペース“と呼ばれるようになったことがあります。そんな事態にメンバーからもスタッフからも“味気ない”“何か寂しい”といった声もあがり、移転3年目にして、心機一転フリースペースの名前をつけなおそう! ということで、ネーミング選挙が昨年末に開催されました。思いつく限りの候補(50個以上!)から、利用毎に3票投票できるというルールのもと、1ヶ月の選挙期間を勝ち残ったのが、フリースペース“ふらっと”で、これにはふらっと寄れる・ふらっとな関係・ふらっと出掛けるといったメッセージが込められています。

ネーミングが決まったら次は看板です。

(年末の大掃除に参加したくない)有志が集まり、材料の切り出しからはじめ、年明けからは文字選びや色選び、ヤスリかけ、ニス塗り、メインで作業するメンバー以外にも、たくさんのメンバーが参加して、看板が完成しました。でも、実はまだ取り付けしていないんです。緊急事態宣言が出され、ふらっとの一日の利用人数が制限されている状態で、顔である看板を付けてよいのか?皆で作ったのだから、皆集まれる日につけるべきなんじゃないか?そういった意見が出る中で、今もそのお披露目の日を待って、看板はふらっとの中に飾られています。

自分たちが決めて、自分たちが作ったものが、看板として掲げられる。こうした活動を通して、“ふらっと”を利用するメンバーたちが想い出や、喜びを共有していければ良いと考えています。



★ふらっと初詣

今年初のふらっと開所は1月6日。新年のあいさつが一通り済んだあとに、メンバー7名とスタッフ5名で近くの札次神社に初詣に行きました。一人ひとり、新年の願いをしました。コロナ騒ぎが収束して再び平穏な日々が訪れるといいなあ。みんなどんな願い事をしたのかな。



コロナが落ち着いたらやってみたいこと

利用メンバーの皆さんに聞いてみました!



コロナが落ち着いたら、私はゆどうふの運動の企画に参加してみたいです。一人ではなかなかやる気が起きないので、コロナが落ち着いて企画が始動したら、ぜひ皆さんと一緒に汗をかきたいと思っています。一人では踏み出せないことも、ゆどうふでなら始められる気がするから。

マスクなしで人に会ったり、会食したりしたいです(笑)

コロナが落ち着いたら、ゆどうふと以前コラボした団体と一緒に音楽ライブをしたいです!

ウォーキング・卓球・カラオケなど歌うイベント・バーベキューがしたいです。

わらしべワークプロジェクトの活動報告

わらしべワークプロジェクトとは、ひきこもり等様々な困難を抱えた若者が中心となって、地域の方が抱えるちょっとしたお困りごと（例：庭の草むしり、買い物、掃除など）を有償で解決する取り組みです。今年度より活動を開始しております。

多様な若者のもつそれぞれの一本の藁が、人や地域との交流、さまざまな経験を経て、いつの間にか自分にとってかけがえのないものになってほしい、という願いを込めたプロジェクトです。



若者が作ったロゴです！

1月21日、都社協の研修でわらしべワークプロジェクトの報告をしました！

1月21日に東京都社会福祉協議会実施の生活支援コーディネーター研修で、町田市における多組織協働の取り組みとしてわらしべワークプロジェクトについてお話させていただきました。

オンラインで各自治体の社会福祉協議会の職員の方が参加されました。

わらしべ実行委員メンバーである堺第2高齢者支援センター、町田市社会福祉協議会、さがみはら若者サポートステーションと町田市地域活動サポートオフィスがわらしべワークプロジェクトの中でそれぞれがどのような役割を担っているかやこれまでのワークや協働のための仕組みなどをお話しました。

研修という場でお話しさせていただくことで改めてプロジェクトを振り返ることができ、協働を一步進めるきっかけになったと思います。

わらしべワークプロジェクト 年次報告会のお知らせ

令和3年4月10日(土) 14時から16時(13時45分開場)

会場：小山市民センター第3会議室（東京都町田市小山町2507-1）
もしくは オンライン(zoom)形式

定員：10名(zoomでの参加は定員なし) 参加費：無料

2020年度は2021年4月からの本格スタートに向けてわらしべワークプロジェクトの準備を進めてまいりました。

開始から1年が経過し、調査を通して見えてきた若者のニーズ、あるいは地域のニーズ、コロナ禍で掘り起こされた当初予想もなかったニーズがわらしべワークに集まっています。

社会福祉協議会や包括支援センター、ボランティアコーディネーター、地域にお住まいの方など、小山エリアを中心に活動される方たちと実行委員会を組み、NPO法人ゆどうふリースペースを中心に若者と地域とのマッチングを行っています。

今回は年次報告会としてわらしべワークの成り立ちから本事業が目指す社会、実際のワークの様子や参加した若者の声と、ワーク依頼者の方から寄せられた声をお届けしながら、アンケート調査を紐解くとともに2021年度の活動をご紹介します！

【申し込みについて】

FAX(042-814-6675)もしくはメール(info@yudofu.or.jp)での申し込みをお願い致します。

①氏名②年齢③住所④電話番号⑤E-mail⑥ご所属(任意)⑦参加形態の希望(会場かオンライン)をお送りください。

メールでのお申込みの際は、件名を「年次報告会参加希望」としていただき上記項目を記入してご応募お願いいたします。

現在わらしべワークプロジェクトでは、

- ①エントリーする若者
 - ②作業依頼をしてくださる地域の個人様、団体様
- を募集しています。
詳しくは法人までお問い合わせ下さい。よろしくお願い致します。



若者によるデザイン

本事業は公益財団法人トヨタ財団の助成を受けて実施しています。

■ オンライン会「福豆トークセッションwith理事〜ず」を実施しました！

1月16日、23日、31日の3回にわたり、オンライン会を行いました！

ゆどうふ理事3名のライフストーリーや理事として取り組みたいことを聞きつつ、参加者との対話をしながらトークセッションを行いました。

ふだん頻繁に会えない理事にオンラインで出会ってもらおうと企画された福豆トーク。大阪でPSIカウンセリングの代表をされている竹内祐一氏のトークセッションではメンバー5名とボランティア1名が参加しました。印象に残ったのは、仕事の依頼をされたときはギャラはあまり気にしないけど交通費は出してほしいかも。面白そうかでやるか決める。活動を通してもっと生きやすい世の中になればという竹内氏の想いが聴けたことです。

医学博士として活動をしていらっしゃる押田恭一氏によるトークセッションでは、押田氏が研究している内容に基づき、心と体の健康のために大切なことについてお話をして頂きました。例えば、おすすめの有酸素運動や食事療法、うつや統合失調症を引き起こすメカニズムなど、ご質問を受けつつお話して頂きました。

会の最後に、このコロナ禍の中で生きていくために大切なことは、正義感をもつこと、自尊心を自らもつこと、信頼している人とつながっていることが大切だという話をみなさんに向けてしていたことが印象に残りました。

理事の思い、そして参加されている方の思いを共有できたトークセッションとなりました！

■ 多様な若者が生き生きできる社会へ ～ご入会/寄附のお願い～

当法人ではただいま活動を支援して下さる正会員/賛助会員を募集しております。

- ◆正会員（個人） 入会費 1,000円 年会費 3,000円
- ◆賛助会員（個人） 入会費 1,000円 年会費 5,000円
- ◆団体賛助会員 入会費 5,000円 年会費 20,000円

※ご入会希望の方は下記連絡先まで電話、メールにてご連絡ください。

【振込先】

きらぼし銀行 町田支店 普通口座 口座番号：1823689

口座名義：トクテイヒエイリカツドウホウジンユドウフリジチョウ
ツジオカヒデオ（トクヒ）ユドウフ

■ NPO法人ゆどうふ

ひきこもり等生きづらさを抱えた40代までの若者とご家族の支援活動を行なっている法人です。

東京都町田市小山にあるフリースペースの運営、訪問支援、臨床心理士によるカウンセリング、その他社会参加体験事業を行う「若者支援事業」と、

音楽イベントの企画をはじめとした文化活動、アサーションワークショップ等を行う「自己表現サポート事業」を実施し、

「一人ひとりが主体として自分らしさを追求することが自然に認められてる社会の実現」を目指して日々活動しています。



〒194-0212
東京都町田市小山町2595-1

TEL 042-814-6675
MAIL info@yudofu.or.jp
HP yudofu.or.jp



@info_yudofu で検索



https://www.facebook.com/npoyudofu